



八戸高専だより

独立行政法人 国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校 発行

〒039-1192 青森県八戸市田面木字上野平16番地1

TEL 0178-27-7223 (総務係)

FAX 0178-27-9379

E-mail somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

URL <https://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

第168号

令和7年8月



バスケットボール部 (八戸開催競技)



硬式野球部 (八戸開催競技)



サッカー部 (優勝)



卓球部 (女子団体優勝)

目

次

八戸のポテンシャル	1
3主事から	2
新入生紹介	3
1学年主任から	7
授業参観日を終えて	7
専攻科新入生紹介	8
今年の編入生・留学生紹介	9
新任教職員紹介	11
北辰寮から	13
相談室より	14

グローバルセンターから	15
ダイバーシティ推進委員会について	16
図書館の今年度の予定	16
キャリア教育・学習支援センターから	17
令和6年度 学年学業成績優秀賞、三ヶ年皆勤賞	19
第62回 東北地区高等専門学校体育大会結果一覧	20
「保護者の声」設置について	22
授業料等の納付について	22
授業料の支援・減免制度について	22
令和7年度 公開講座	22

八戸のポテンシャル

八戸工業高等専門学校長 土 屋 範 芳



2022年の八戸市の製造品出荷額は6100億円余で、過去最高を記録している。多少の凸凹はあるが、21世紀に入って右肩上がりの増加を続けている。一方で、八戸港の水揚げは2年連続の4万トン割れとなり、こちらのほうは、減少傾向に歯止めがかかっていない。水産都市として発展してきた八戸市であるが、昭和の高度経済成長時代に新産業都市に指定されて以降、今では名実ともに八戸市は、工業都市としての性格が強くなっている。

この製造品出荷額は北東北で3位となっており、上位2位はいずれも岩手県内陸部の市・町である。この市・町には、大規模事業者が進出しており、この少数の工場が出荷額の大きな割合を占めている。一方、八戸市は一極集中ではなく、沿岸部分に重厚長大産業が立地しており、内陸部、特に八戸北インター周辺の工業団地に、ハイテク企業が進出してきている。八戸市には極端に大きな企業、工場があるわけではなく、中核となる複数の企業とその周辺の地場産業が発達してきている。八戸市の業界団体の方がおっしゃっていた言葉が印象的だ。どんな時でも、どんな状況でも、例えばコロナ禍で世の中が冷え切っているときでも、稼いでいる商売ってあるもんなんですよ。なるほど、いまふうの言葉でいえば「多様性」は、しなやかな力となって、ペしゃんこにならずに、次の芽を出してくる。八戸市の工業は、時流に乗って爆発的に発展していくというわけではないが、地道に確実に、ものづくりを進めて、しっかりとした足場が築かれている。八戸の強さであろう。

最近、八戸市にあるハイテク会社二社を見学させていただいた。一社は精密機械メーカーで、量産品の製造とカスタムメイド・オーダーメイド（量産品を作り変えたり、全く新たなものを作る）の両方を行っている。カスタムメイド・オーダーメイドの製品は、ち密な設計とそれを実現する熟練した技が必要で、これはもう日本が誇るものづくり、そのものだった。一緒に行った同僚（この先生は、アメリカで長く技術者として働いた経験がある）が、アメリカでは決してできないものづく

りですねと感心していた。

もう一社は、医療機器メーカーで、その製品イメージから、病院、そしてなんとなく白い色の工場という勝手なイメージを抱いていたが、さにあらず、精密工作機器が整然と並ぶ、根っからの製造工場だった。感心したのは、説明してくれた本校卒のOB、OGたちだ。目を輝かせて、自分の仕事を楽しそうに話してくれた。うわさにたがわず、この会社は人をよりよく育てる会社だといたく感心した。

ほかでは作れないものを作り、そしてそのことが自分らの誇りと幸福につながっていく。その土壌が製造業をこの土地の中心的な生業とする八戸にはあるのだと思いました。八戸の大きな大きなポテンシャルでしょう。

さて、いま世界は極めて不安定化しています。国と国とのいさかい、人と人とのいがみ合い、いま社会の分断は、制御・修復できないくらいに深く苛烈なものになってきています。八戸にもその影響は少なからず来るでしょう。でも、確かなものづくりの技と心は、荒波の中でも失なわれないことを願わずにはられません。

まねのできない質の高い工業をしっかりと支える人材を養成しつつ、次の社会を創造していく。高専に期待されることは大きいと思います。八戸のポテンシャルを意識しつつ、校訓である「誠実・進取・協調」を胸に刻んで、社会に貢献する高等教育機関であり続けたいと考えています。

引き続き、皆様方からのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、去年は「えんぶり」のことを書きました。ねぶたに比べ、知名度では劣るものの、それがあって地域に根差した地域の人々のためのお祭りとなっており、この八戸の誇りです。三社大祭もしかり。これから先もずっと残したい伝統です。

八戸の伝統的ポテンシャル、最後はやはり食でしょうか。イカでしょうか、サバでしょうか、でもやっぱりせんべい汁…、というところで紙面が尽きました。

3 主 事 から

教務関係のお知らせ

教務主事

野 中 崇

今年度より、教務主事を務めることになりました野中と申します。

令和7年度入学生のカリキュラムは卒業までに必ず単位を修得しなければならない「必修科目」が設定されました。これに伴い、進級や再試験に関わる規則の改定を行いました。入学時に配布した学生便覧やWebClassに掲載しています。各学生の入学年度のカリキュラムが適用されますので、先輩や後輩と異なる部分もあることから、随時、確認しておいてください。

昨年度より、教務関係の情報システム「KOSEN WEB」が導入されました。成績や単位修得状況などの閲覧、学割証や在学証明書など発行もできるようになりました。年間目標と学習や課外活動の成果などの振り返りの記入も始めており、卒業までの学生生活を記録し、今後の学習計画や将来の進路に活用していただきたいと思います。

夏季休業期間は、個々の目標に向けた活動に専念できる機会です。1年生から3年生は自主探究で実験やフィールドワークに取り組むこともできます。4年生は進路のための機会としてインターンシップ等の就業体験や企業研究、進学のための学習に、5年生は卒業研究以外にも卒業後のキャリアのための英語学習や資格取得などに取り組むことができます。有意義な期間とするために、計画的に活動していただきたいと思います。

厚生補導関係のお知らせ

学生主事

中 村 雅 徳

平素より本校の教育活動に対しまして、温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。今年度、学生主事となりました中村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。さて、本年度の実践目標は、以下の3点です。

＜自己実現＞夢や目標を持つだけでなく、それを実現するために道筋を描き、計画的に行動する力を育てていきます。高専には、クラス、部活動、学寮、学生会など多様な組織があります。個人の努力に加え、組織の中でどのように自分を活かし、貢献できるかを考え、行動することが大切です。そ

うした経験を通じて、自分の強みを発見したり、他者から学ぶ姿勢を育んでほしいと願っています。＜自己責任＞社会生活のみならず、学校生活においても、自分の言動には責任が伴います。特にSNS等の利用では、投稿前に「この言葉は誰かを傷つけていないか」と考えてみるのが重要です。

＜他者理解＞異なる意見や価値観を持つ人々と共に生きるためには、相手の立場を理解しようとする姿勢が不可欠です。そのためには、「伝える力」「聴く力」「読み解く力」といったコミュニケーション能力を高めていくことが求められます。

学生の皆さんには、学業はもちろん、学生会や課外活動など多様な経験を通じて、充実した学生生活を送っていただきたいと願っております。保護者の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

寮からのお知らせとお願い

寮務主事

佐 藤 久美子

昨年度に引き続き寮務主事を務めさせていただく佐藤です。どうぞよろしくお願いいたします。日頃より保護者の皆様には、寮の運営等にご協力いただき、大変ありがとうございます。

さて、今年3月末には新しい混住型国際寮C棟が完成し、現在は内部を整える作業に入っています。8月までには家具・電化製品がすべて設置されます。そして、夏休み明けの9月21日には、C棟へ入寮することができますので、楽しみに待っているところです。C棟の完成により、人気の高い国際寮の入居者数が増えることとなりますので、皆様に喜んでいただけるものと思います。

今年度も、新1年生など初めて入寮した寮生は、最初は慣れない共同生活のため、少し戸惑っている様子も見受けられました。しかし、徐々に自分のペースをつかみ、周りを見る余裕が出て来るとともに、現在は落ち着いて生活できてきているようです。寮生たちには、自分のことは自分で行い、また、寮での生活を通じて集団生活でのルール遵守の大切さを学び、さらに、寮内の様々な活動に積極的に参加して自分を磨くなど、いずれ社会に出るときのための準備をしてほしいと願っています。

今後とも、保護者の皆様には引き続きご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

何事にも全力で

L 1 担任 松 橋 瑠 偉

教室に入ると、「おはようございます」と自然に挨拶してくれ、遅刻する学生もほぼいない。連絡事項を伝えているときには、しっかりと耳を傾け、分からないことがあれば自分から尋ねに来てくれる。そして、教室の環境も概ね整っている。そんな、当たり前のようにありがたい毎朝を重ねるうちに、初めて担任を務める私も、少しずつこのクラスに馴染んできました。

自由度の高いこの学校では、自分を律する力が求められると感じています。挨拶をする、目を見て話を聞く、規律を守る、教室を整える一。どれも一見、当たり前のことかもしれませんが、それを当たり前に行うことは案外難しく、それでも、生きていくうえでとても大切なことだと私は思っています。だからこそ、L 1の皆さんには、当たり前のことを当たり前に行う姿勢を大切にしてほしいと願っています。

そのうえで、授業や自主探究、クラブ活動、学校行事、寮生活、友達との時間など、高専生活のあらゆる場面で、何事にも全力で取り組んでみてほしいです。「なりたい自分」に近づいたり、「思ってもよらない自分」に出会えたりするはずです。

多様なバックグラウンドを持つ選手たちが集まったラグビー日本代表は、「One Team」というスローガンを掲げて躍進を遂げました。同じように、40名が集まるL 1も一つのチームです。皆さんも互いの個性を尊重し合いながら、一つのチームとして前に進んでいきましょう。私もその一員として、全力でサポートしていきます。



高専生活への不安と期待

電気情報工学コース1年

附 田 大 虎

(三沢市立第一中学校出身)

八戸高専に入学してから、早いもので約3か月が経ちました。電車での通学や90分授業、専門科目など、中学校とは異なる新しい環境に、戸惑いや不安を感じることもありました。しかし、多くの方々の支えのおかげで、現在は楽しく高専生活を送ることができています。

ですが、まだ油断できる状況ではありません。これから理系教科の内容がさらに難しくなり、自主探究も活発になる中で、取り組むべきことが一層増えていきます。そうした中でも、クラスの仲間たちと協力し合いながら、大きな壁を一つ一つ着実に乗り越えていきたいです。

また、八戸高専は英語学習にも力を入れているため、英検やTOEICなどにも挑戦し、自らの英語力を高めていきたいです。これからも、高専生活を思いきり楽しみながら、メリハリをつけて有意義な学校生活を送っていききたいと思います。



高専生になって

マテリアル・バイオ工学コース1年

我 妻 きらら

(三沢市立堀口中学校出身)

今から2か月前、期待と緊張を胸に入学式を迎えました。あの頃の静かな教室が嘘のように、今では朝から放課後までにぎやかです。授業や寮生活、部活動、そしてクラスの雰囲気にも、だんだんと馴染んできました。最近は新しい友人と過ごす時間が増え、他の学校ではきっと味わえなかったであろう楽しさを実感しています。

とはいえ、勉強は避けて通れません。それでも、高専での学びはあまり苦には感じていません。自分に合った方法で取り組めるからです。図書館や自室で静かにやるのもよし、教室やイノベーションハブで友達とワイワイやるのもよし、先生に直接教えてもらうのも一つの方法です。「楽しい」と思える方、「やりたい」と思える方を選んで学べる。そんな八戸高専での日々が、ただただ楽しいです。これからも自分の目標に向かって試行錯誤を重ね、充実した日々を過ごしていきたいです。

愉快に真摯であれ！

L 2 担任 齋 麻 子

令和7年度も既に春学期を終了し、L 2の学生たちもすっかり高専生らしくなってきました。

入学直後、「どの部活動に入りますか？」という質問を、結構しつこく繰り返しました。何故でしょう。「部活動をしなくてもいいじゃないですか。」と、いう人もいました。自由な学校ですから、それもまあ。考え方の一つではあります。でも、私は何らかの活動はするべきだと思っています。

さて、先日、校内体育大会がありました。今年はリーダーを努める5年生たちがとても楽しく努力した甲斐があって、晴天に恵まれたのだと思います。

今年の校内体育大会。コースのリーダーたちは応援合戦に向けて、それぞれ趣向を凝らして全力で取り組んだようです。どのコースも見ごたえがありました。私はEコースの学生たちから依頼されて、「ねぷた」づくりに協力しました。電気の学生からのリクエストであることを踏まえ、渡された和紙に尾形光琳の『風神雷神図屏風』の“雷神”を模写し、学生たちへ「愉快に真摯であれ」という言葉をしたためました。美術史学に通じ、書道部の顧問らしいものにしました。

「愉快に真摯であれ」に込めた思いとは、学業も、部活動も、その他のやるべきことも。いずれにしても、マイナス思考で嫌々取り組むのではなく、どうせやるのであればプラス思考で「愉快的気持ちで」取り組むべきという意味と、一見無駄に見える「愉快的」ことも、いい加減にこなすのではなく、「まじめに全力で」取り組むべきという意味を込めました。

勉強さえできれば、将来有望な社会人になれるのか？ 私はそうは思いません。勉強にも真摯に取り組んでほしいですが、それ以上に、部活動や学校行事などに、真摯に取り組んでほしいと考えています。進学・就職で忙しい中でも、できる範囲で精一杯真摯に応援合戦のプランを生み出し、下級生たちを引っ張った5年生たちがいます。おそらく彼らは高専祭も「愉快に真摯」であってくれと思います。その姿を見て、L 2のみなさんにも将来「愉快に真摯であれ」を体現できる人になってほしいと願います。

高専での学び

電気情報工学コース1年

早 野 翔 太

(岩手県盛岡市立北松園中学校出身)

入学して早くも2か月が過ぎました。高専での生活には慣れましたが、それでもまだ分からないことがたくさん降りかかってくる日々を過ごしています。

高専で勉強するものは、数学や専門科目など難しいものが多いですが、高専で学べることは勉強だけではないと、僕は思っています。留学生の方と話す機会や、自主探究など、中学校では経験することのなかったことがたくさんあります。なので、高専でしか味わえない様々なことに積極的に触れていきたいです。そして、それらに触れる中で、多くのことを学び、高専生活を楽しんでいこうと思います。



部活動も勉強も全力で

環境都市・建築デザインコース1年

高 山 芽 依

(八戸市立東中学校出身)

入学してからもう2か月も経ちました。少しずつ授業のスタイルや学校の雰囲気にも慣れてきましたが、まだまだなれないことはたくさんあります。専門の授業が増えたり、授業のスピードが早くなったり、内容が難しくなったりと、中学校の時とでは、かなり大きく変わりました。

通学には、少し時間がかかりますが、少し余裕をもって行動できるようになりました。放課後は友達と部活動に全力で取り組んだり、勉強を教えあったりしながら、楽しく過ごしています。

勉強についていけないと焦る時もありますが、先生や友達に聞いたり、復習や予習をしたりなど粘り強く取り組み、目標に向かって頑張りたいと思います。



その素敵な個性を前面に出して

L 3 担任 清 川 紘 樹

新1年生の担任となり、彼らと同じ年齢だった頃の自分をよく思い返すようになりました。私は幼い頃から虫や鳥などの生き物が大好きで、それはずっと自分の大事な個性でした。しかし中高生時代はそれを前面に出すとからかわれることがあり、個性を隠したり消そうとしたりすることもありました。

今は当時とはだいぶ変わり「多様性」や「個性」という言葉が飛び交う時代になりました。それでも私が4年ほど住んでいたオーストラリアに比べると、日本ではまだまだ「個性よりも和を強く重んじる」風潮が良くも悪くも残っています。またSNS等の普及により様々な情報が溢れ返った今の社会には他人と比較するきっかけがたくさんあり、学生が「こうであるべき、ああであるべき」と思ってしまう機会が少なくないでしょう。

L 3 担任をする中で改めて気付かされたのは、やはりこの年齢の学生達には皆一人ひとり個性があり、それぞれ良いところがあるということです。自分をどこまで出していいものかと戸惑う姿の中にも素敵な個性が滲み出ています。

当時の自分に伝えるつもりで今の学生達に言いたいのは、「自分の個性を隠そうとしなくて良いんだよ」ということです。自分の素敵な個性を他人と合わせようとして無理に消してほしくありません。そして他人の素敵な個性に気づき認められる人になってほしいです。

幸いなことに私は、大学の生物学科では同じような興味を持つ仲間たちに囲まれることとなり、思う存分に自分の個性を出せるようになりました。さらに時が経って色々な人と出会い経験を重ねた今、私は他人からどう思われようと自分の個性を堂々と表に出します。そして学生の皆さん一人ひとりの個性を認め、良いところを見つける自信があります。私は個性全開の皆さんを大歓迎です。

私も自分らしさ全開で走り続けるので、皆さんもありのままの自分で高専生活を存分に楽しんでください。一緒に個性を大事にしながら、未来に羽ばたいて行きましょう。

新天地での新生活!!

電気情報工学コース1年

村 上 柊

(岩手県大船渡市立第一中学校出身)

岩手県から県を跨ぎ、八戸高専に入学しました。同じ中学校出身の友達がおらず、不安がたくさんある中で始まった高専生活でした。しかし、入学式を終えてすぐに不安が吹き飛びました。学校生活、特に放課後や部活動の時間を通してクラスメイトとの距離があつという間に縮み、最近ではとても楽しく過ごせています。

5月下旬には初めての到達度試験を終えました。分からないことが多く大変でしたが、友人達と一緒に勉強して切り抜けました。

ほっとしたのも束の間、すぐに夏学期が始まりました。校内体育大会、自主探究、東北地区高専体育大会など高専らしい行事が増え、本格的な高専生活のスタートだと感じます。新たに出会った仲間達と共に勉強や行事、部活動をいっそう頑張っていきたいです。



目標を持って全力投球

環境都市・建築デザインコース1年

薦 木 隼之介

(階上町立道仏中学校出身)

入学してから二ヶ月が経ち、クラス全員が学校生活に馴染んできたように思います。長い集中力が求められる90分授業にも慣れ、中学の頃よりも科目数が多い到達度試験も無事乗り越えました。

私の高専での目標は大きく3つです。1つは、様々な人と関わることです。同級生はもちろん、先輩方や先生方とたくさん関わって多くの知識を吸収し蓄えたいです。2つ目は、部活動に精力的に励むことです。中学で熱心に取り組んだように、八戸高専の野球部でも自分の長所である「誠意を持って取り組む姿勢」を存分に出していきます。最後3つ目は、やはり勉強です。好きな教科、苦手な教科を問わず全力で勉学に励みます。

5年後この原稿を振り返ったときに目標を達成できたと自信を持って言うことができ、笑顔で卒業できるよう、楽しみながらも身を入れて高専生活を送りたいと思います。

変化の中に何を見るのか？

L 4 担任 若 狭 尊 裕

2025年も気が付くと、入学式が遠い過去の日
の出来事のように、怒涛の流れの中で春学期が過
ぎていったように思えます。とにかく早い、そし
て次々とこまごまとしたイベントが続き、ガチガ
チに緊張していた時期ということもあって、あっ
という間に時間が過ぎてゆくのでした。

私自身は初めてのLクラスの担任という事で、
赴任以来の試行錯誤しかない春のスタートとなり
ました。これまでずっと担当していた2年生担任
とは大きく違うことを感じた次第です。

L 4クラスは当初から、他のLクラスよりも落
ち着いた印象で朝が始まり、また、学業に関する
興味関心、意欲の高めなクラスであると感じまし
た。反面、対人関係はどうなのか？ 普段の休み
時間は楽しく過ごせているのか、といった不安も
ありましたが、蓋を開けてみるとそのような心配
は杞憂に終わり、ひとまずホッとするものでした。
いや、むしろお昼などは大声で笑い合っており、
放課後などは周囲への迷惑を心配し始めるほどで
す。まだ授業を行っている他クラスの授業の妨害
になってはいないだろうか？ といった感じで、こ
れは予感的中… やはり注意を受けたようですね。

とはいえ、長い高専生活の中で、うまく最初の
つながりを持てたように思えます。勉強、そして
遊びの切り替えをしっかりと行い、将来に向けた土
台作りができればと思っています。

こういった日々の変化も、高専という空間に慣
れ、自分なりの視野を持ち始めたからではないで
しょうか？ 今も取り続けている一つ一つの選択が、
今後の自分の時代を、自分の世界を作り上げるタ
ネです。どのような将来を表現できるか、実現で
きだけの力を得られるか。それぞれの道の中で、
その眼に映る世界を突き詰めてみてください。

高専入学から2ヶ月を振り返って

機械・医工学コース1年

高 村 悠 生

(八戸市立北陵中学校出身)

初めての大きな行事である体育大会が終わり、高専に入学
してからあっという間に2か月が経ちました。入学前は、新
しい環境になじめるか、友だちはあるのか、授業について
いけるのかなど、不安なことばかりでした。期待もありまし
たが、それ以上に緊張していたのを覚えています。

実際に学校が始まってみると、同じように不安を感じてい
たクラスメイトと自然に話すようになり、少しずつ打ち解け
ていきました。授業でわからないところは先生や先輩が丁寧
に教えてくださり、安心して過ごせるようになりました。

授業の内容は難しいですが、毎日取り組む中で「わかるこ
と」が増えていくのがうれしくて、勉強への意欲も高まって
います。自分なりの学習ペースを見つけられるようになって
きて、少しずつ自信もついてきました。

体育大会やこれからある高専祭など、楽しい行事もたくさ
んあり、高専生活の楽しさを実感しています。これからもい
ろいろなことに挑戦して、充実した学校生活を送っていきたい
です。

高専の実感

環境都市・建築デザインコース1年

向 谷 地 彩 七

(八戸市立三条中学校出身)

私は高専で春学期という2ヶ月を過ごして勉強面、人間関係に大きな変化が生まれ
たと感じます。

まず、勉強面です。高専の勉強レベルは正直にいうと中学校の2倍には満たないくら
いの難しさです。教科によって差がありますが、先生や先輩に聞いたり、友達と一緒に
考え合ったりなど、解決方法はとても身近にあります。テストには授業でやった範囲の
応用などがあるので対策はいくらでもできたというのが春学期のテストの印象です。

次に人間関係です。高専の1年生の間は4つのコースが混ざるため、始めは来年から
クラス一緒になることないからそんなに親しくなれないかなと思っていましたが微塵も
そんなことはありませんでした。とても楽しいです。勉強を教えあったり、一緒にご飯を
食べたり、似たような趣味の人と話したり、逆に来年からコースでまとめないでほしい
と思うくらいに本当に楽しいです。他にも部活の先輩からの高専の逸話を教えてもらっ
たり、アドバイスだったり、それに高専の先生がする雑談面白いです。数学の間に物理
の問題が出されたり、先生と呼ばれているのに教員免許を持っていなかったりと、高専
でしか聞けない様な話が多く、楽しいです。

高専の春学期の印象は新しい生活が始まり、それらを知り、体験する期間のように感
じました。それに後半につれて嬉しいことも不安も湧いてきましたが、2ヶ月とは思え
ないほど、皆が楽しく生活しており、私は八戸高専に来られてよかったと感じています。

1 学年主任から

第1 学年主任 齋 麻 子

A. 「みんな、経験を重ねて上手くなります。
恐れず、興味を持つ心を大切にしましょう。」
(図書館からの返信)

Q. 「外国に留学してみたいけど、英語が話せるか不安です。(12歳)」に対する答えとして、「できるようになってからしゃべります」というのは、「泳げるようになってからプールに入ります」と言っているようなものです。あなたにおすすめの一冊『そもそも英語ってなに?』(里中哲彦著)にある一節です。

という、文章の後にある文です。これは、最近話題の書籍『図書館のゆるゆる人生質問箱 中高生の悩み、質問、雑談に、図書館職員がお応えします!』(2025年4月ワニブックス刊)の一節です。北海道斜里町の図書館職員が中高生の悩みや質問などに“ゆるく”応えたものです。質問に対して、“答え”ではなく“応え”であるところがとても魅力的で、いろいろと考えさせられます。

表題として引いた一節は、興味を抱いている外国留学に対して、「英語力に対する不安」を掲げています。誰しもこのような気持ちは持ち合わせていると思います。ですが、“応え”には「泳げるようになってからプールに入ります」と言って

いるようなもの。という図書館職員らしくおすすめの一冊の一節を引用し、「みんな経験を重ねて上手くなります。恐れず、興味を持つ心を大切にしましょう。」と、勇気づけています。

本校に入学した新入生たちも、「何かに挑戦したい!」という気持ちと、「うまくできるだろうか?」という不安に苛まれながら、高専生活をスタートしているかと思います。この本にあるように経験が人に自信を与えてくれると思います。「恐れずに、興味を持つ心を」手に入れてほしいと思います。

この他にもQ. 「将来なりたいたいものは、いつまでに決めたら良いですか?」→A. 「<前略>実は大人になると「将来なりたいたいもの」を聞かれる機会がほとんどありません。けれど、本当はおじいちゃんにもお母さんにも「将来」があるはずで。<後略>」Q. 「最近、学校の勉強についていけません。どうやって勉強したらよいですか?」→A. 「ついていけないくらいなら、いっそ追い越してやれば良いのでは。<後略>」など、“ゆるく”も、ためになる話題がたくさんあります。スマホばかりに注視せず、たまには本を読んでみよう!と、学年主任&国語科主任は思うのであります。いろいろなことに興味を持ち、経験を重ねて行ってほしいものです。

授業参観日を終えて

教務主事補 馬 渡 龍

令和7年度春学期の授業参観日は、4月19日(土)に実施しました。参観者は延べ206名で、内訳をみると1年生111名・2年生42名・3年生31名・4年生15名・5年生7名となり、全体の5割強が1年生でした。

1年生の保護者の皆様にとっては、ご子息、ご息女が高専という新しい環境において、日々どのように学校生活を送っているのか不安に感じられ、授業参観に参加されたのではないかと推察しています。実際に1年生の保護者参観アンケートでは、「良い雰囲気を感じられた」「本当に楽しそう」「安心しました」「入学して学校生活を知れる良い機会でした」「緊張していたが一生懸命学んでいた」というコメントを頂き、参観されたことで安堵されている様子を伺い知ることができます。一方、学校や教室の環境のこと、授業の進め方について、有益なコメントをいただきましたので、教職員で共有し今後の改善につなげていきたいと思ひます。

今年度の授業参観の延べ人数は、昨年度の延べ

276名と比較しても少なくなっています。本校にとって、保護者の皆様に高専の教育活動を知っていただくことは、非常に重要な機会と考えております。夏学期の授業参観は、7月11日(金)~17日(木)の平日、秋学期の授業参観は11月10日(月)~14日(金)に実施しております。この期間は授業時間であれば、事前の予約もなくお気軽に参観が可能です。授業参観期間は、午前の授業を参観し、学食でお昼を食べ、午後の授業を参観されるという過ごし方もお勧めです。春学期にすでに参観された方も、まだ授業参観に参加されていない保護者の皆様にも、是非ご参観いただきたいと思ひます。

なお、冬学期は授業参観を設けておりませんが2月19日(木)~21日(土)に低学年の自主探究ポスター発表会を開催します。学生たちが春学期から1年かけて一生懸命取り組んできた探究の成果を保護者の皆様にもご覧いただきたいと思ひます。引き続き奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

専攻科生活と今後の展望

機械システムデザインコース 1 年
浅 木 慎之介

本科での5年間を終え、専攻科としての生活がはじまりました。これまでと大きな環境の変化があるわけではありませんが、授業や課題の難易度が格段に上がり、日々高度な専門知識を深める充実感を感じています。本科で学んだ内容の応用や発展が中心となり、専門科目への理解がより一層深まり、知識に厚みが増す実感があります。

研究活動では、今年発表を予定している学会に向け、ほぼ毎日実験と試行錯誤の連続です。本科学習時と比較して、研究に対する責任感や探求心が一層強まり、自らの意思で取り組む楽しさに満ちています。

本科時代と比べると、授業・研究・私生活のバランスを取ることは一層困難になりました。苦しいと感じる瞬間もありますが、「限られた時間の中で自分のスキルを磨く」という目標を胸に、今後とも一步一步努力を重ねてまいります。



僕のkouセンアカデミア

マテリアル・バイオ工学コース 1 年
八木田 光 洙

本科を卒業し、専攻科に進学してから、早くも3か月が経とうとしています。振り返れば、本科の5年間もあっという間で、時間の流れの速さを日々実感しています。まだ二十歳ながら、「歳をとったな」と感じてしまうほどです。専攻科での生活は、まさに戦場のようです。本科時代の仲間たちはそれぞれの進路に向けて動き出し、私の所属するCコースには、モンゴルやタイ（1カ月インターンシップ）からの留学生も加わりました。彼らと積極的にコミュニケーションを取ろうと試みるものの、思うように英語が出てこず、自分の語学力の未熟さを痛感する日々です。授業では、プレゼンテーション資料やレポートの作成など、より高いレベルの課題が求められ、本科時代以上に気を引き締めて取り組まなければなりません。今はまだ、ついでいくのに精一杯ですが、「昨日の自分よりも今日、今日よりも明日」と、一歩ずつ成長できるよう努力を重ねていきたいと思っています。

さらにその先へ——PLUS ULTRA（さらに向こうへ）！

広がる可能性と目標

電気情報システム工学コース 1 年
熊 野 創 太

専攻科に入学して2ヶ月が経ちました。この2ヶ月間で感じたことは、活動の選択肢の広さです。クラスや学年の人数が少なくなったことで、周りの人がどのようなことに取り組んでいるのかが、より分かりやすくなりました。進学や就職、特別研究など、さまざまな人がそれぞれの目標に向かって学校生活と並行して努力している様子を、日々感じています。その一方で、自分のやりたいことが明確でないと、周りに置いていかれるような感覚もあります。だからこそ、自分自身も目標をもって学校生活を送ることの大切さを痛感しています。

本科に比べて、インターンシップや留学、研究室訪問などの活動の自由度が増えたことで、自分で選び、主体的に挑戦できる機会が広がりました。これからも積極的に活動に取り組み、将来の進路を見据えて過ごしていきたいと思っています。



新たな学びと成長

環境都市・建築デザインコース 1 年
矢 神 晴

本科の5年間を終了し、専攻科に入学してから3ヶ月が経ちました。専攻科での生活は、一見今までと変わりありませんが、研究に費やす時間が増え、授業や課題の内容も一層高度になってきました。これからの2年間は、より専門性の高い勉強や研究に真剣に取り組む、密度の濃い期間になると感じています。

実際に、少人数制の授業を通じて、より主体的に学ぶ姿勢が身についてきていると感じています。また、他コースの学生との交流を通じて、自分にはなかった視点や考え方に触れる機会が多く、良い刺激を受けています。

専攻科での2年間は限られた時間です。その限られた時間の中で、自分の将来像を思い描き、自分自身と向き合うことが大切だと感じています。勉強や研究はもちろん、人としての成長も含めて、充実した2年間にしていきたいです。

今年の編入生・留学生紹介

はじめての高専生活

機械・医工学コース3年
アイマン ベン マド カールディン
(マレーシア)

八戸高専での学びは、学問だけでなく、個人的な発見と成長の旅でもあります。入学してから約3ヶ月が経ちました。唯一のイスラム教徒の学生として、多くの困難と機会を経験し、考え方が大きく変わりました。来たばかりの頃は、会話や授業、文化、そして日常生活にも苦労しました。先生やクラスメートの言葉をうまく聞き取れないことが多く、不安でしたが、皆さんがとても親切に接してくれたおかげで、少しずつ慣れてきました。ムスリムとして、食べられるのはハラルの食べ物だけなので、食堂の料理は食べられません。自分で料理を作る必要があり、その結果、寮生活と勉強が少し大変に感じることもあります。しかし、良い面から見れば、時間管理と料理の工夫を学ぶ良い機会になっています。また、YOSH My Fund Actionという組織でボランティア活動もしています。この組織はイベントを企画し、私のような学生に精神的なサポートを提供しています。私は趣味で写真や動画編集が好きなので、暇な時間にソーシャルメディアのコンテンツ作成者としてこの組織と活動し、学生生活や異文化体験などを発信しています。八戸高専では、学問だけでなく精神的にも多くのことを学ぶことができました。ここは、学び、自己成長し、貴重な経験を積むのに最適な場所だと感じています。機会があれば、こんなことをもっと多くの人にシェアしたいです。

高専の始まり

電気情報工学コース3年
バーサンダシ ザンダンシャタル
(モンゴル)

八戸高専に入学してから、早くも2ヶ月が過ぎました。入学前は新しい環境でどのような学校生活になるのか、楽しみと同時に不安もありました。特に寮生活も初めてだったので、点呼の時間やルールなど、慣れないことが多く戸惑うこともありました。

しかし、先生方や寮の先輩、クラスメイトの皆さんがとても親切にしてくださり、少しずつ生活にも慣れ、今では安心して毎日を過ごせるようになってきました。最初は不安でいっぱいだった学校生活も、今では授業や部活動を楽しめるようになりました。

私は現在、サッカー部に所属しており、放課後は仲間たちと練習に励んでいます。部活動を通して、新しい友人もでき、学業だけでは得られない貴重な経験をしています。また、授業では専門的な内容が増えてきました。わからないところは積極的に先生に質問したり、友人と教え合ったりすることで、理解を深めるよう努力しています。

これからの3年間、この八戸高専で自分の力を伸ばし、将来の目標に向かって確実に前進していきたいと思っています。

八戸高専の生活

マテリアル・バイオ工学コース3年
パチャラダナイ オパブ
(タイ)

初めまして。私の名前はポンです。タイのKMUTT高専から来ました。2年生のときにはバイオエンジニアリング学科を専攻していましたが、現在は八戸工業高等専門学校のマテリアル・バイオ工学コースの3年生です。

日本に来てから、約2ヶ月が経ちました。最初の頃は、いろいろと大変なことがありました。授業はすべて日本語で行われるため、内容を理解するのが難しく、文化にもまだ慣れていませんでした。しかし、1か月ほど経つと、少しずつ慣れてきて、生活も落ち着いてきました。

日本語はまだ完璧には分かりませんが、日常会話はだいたいできるようになりました。寮での生活にも問題はなく、楽しく過ごしています。

これからは分からないこともたくさん出てくると思いますし、研究や実験も始まります。でも、少しずつ努力していけば、時間が経つにつれてきっと大丈夫になると思っています。これが、現在の私の日本での留学生活です。

初めての高専生活

マテリアル・バイオ工学コース3年
プレノイ シ
(ラオス)

私はプレノイ シです。ニックネームはノイーです。ラオスから来ました。今Cコース3年生で学んでいます。

高専での生活は、ラオスでの生活と比べて、勉強、食事、言語など多くの違いがあります。だから、この2ヶ月間の高専での生活では、大変なことも楽しいこともありました。最初の頃は特に日本語が難しく、プレッシャーを感じることも多かったのですが、先輩や日本人の友達に相談することができ、日本人の友達もとても優しくしてくれました。そして、何よりも、先生たちがやさしい言葉で丁寧に教えてくれるので、そのおかげでプレッシャーも徐々に減ってきました。

日本の料理とラオスの料理は味が異なりますが、私は日本の料理も好きです。特に問題はありません。これからはもっと日本語が上手になって、さまざまな教科をもっと早く理解できるようになりたいです。それから、日本の文化にもより深く触れられるように頑張りたいと思います。

これからもよろしくお願いします。

八戸高専の生活

環境都市・建築デザインコース3年
ジョーイ エンリケ サンタナ アナク エルヴァン
(マレーシア)

はじめまして。ジョーイです。マレーシアのサラワク州から来ました。寮生活は初めてではありません。日本に来る前、約1年半ほど準備プログラムのため寮に住んでいました。

高専に来たばかりの頃は、分からないことがたくさんありました。しかし、高専の先生方はとても親切で、困っているときはいつも助けてくださいました。初めての授業では何が必要か分からず不安でしたが、クラスメイトのチューター二人が手伝ってくれたので安心できました。チューターとは、勉強だけでなく色々な話もできるので、とても楽しいです。部活動ではバドミントン部に入

りました。部員みんながバドミントンのやり方を教えてくれて、難しかったですが楽しく活動しています。

寮の食堂では、毎日違う種類の美味しい日本食が出ます。辛い食べ物はほとんどありませんが、私は辛いものが得意ではないので問題ありません。

これから約3年間、どんなに難しいことがあっても、卒業まで頑張ります。

八戸高専の生活

環境都市・建築デザインコース3年
ゾーリンテット
(ミャンマー)

初めまして。ミャンマーから来たゾーリンテットです。現在はZコースの3年生として勉強しています。

最初は高専での勉強についてとても不安でしたが、先生方やチューターのサポートのおかげで、少しずつ慣れてきました。

学校の雰囲気も良く、クラスメイトもみんな優しく接してくれて、とても嬉しく思っています。

特に、ミャンマーで大きな地震があったときには、クラスのみなさんが募金を集めてくれて、本当に感動しました。

その気持ちは今でも忘れられません。

今は春学期が終わり、夏学期が始まって、授業や課題で少し忙しくなってきました。

でも毎日が充実していて、新しいことを学ぶのが楽しいです。

日本に来る前も寮で生活していたので、寮の生活にはすぐに慣れることができました。

ルームメイトや他の留学生とも協力しながら、楽しく生活しています。

これからも日本語や専門の勉強をもっとがんばって、将来は自分の国と日本の架け橋になれるような人になりたいです。

残りの留学生活も大切にして、多くの経験を積んでいきたいと思っています。

新任教職員紹介

① 工 藤 璃 輝

- ② 東京都大田区
- ③ 総合科学教育科 助教
- ④ 神戸大学大学院国際文化科学研究科特命助教
(日本学術振興会特別研究員－PD)

今年度より本校に着任した工藤璃輝（くどうりき）です。私は東京出身ですが、私のご先祖は青森県藤崎市にいたらしいと聞いており、青森県とのご縁を感じております。

私は東京工業大学理学部物理学科を卒業した後、同大学大学院社会理工学研究科で科学史（科学の歴史）を研究して参りました。学位を取得してからは、東京高専や東京近郊の大学で非常勤講師を勤めたあと、日本学術振興会の特別研究員として、1年間神戸大学に所属しておりました。

私の専門分野は科学史で、特にアイザック・ニュートンに注目しております。博士論文ではニュートンの音楽理論の分析を行いました。去年からは、江戸時代日本の科学史の研究も始めました。江戸時代にオランダから入ってきた、ニュートンに強く影響された科学書を、当時の日本人がどのように受け止めたのかについての研究です。また、八戸には真法恵賢や神山由助など高名な和算（日本流数学）家がおりましたので、彼等についても研究してみたいと考えております。

まだまだ至らないところも多いかと存じますが、本校学生の「理工系人材としての教養力」の向上に少しでも貢献できればと考えております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

① 利 穂 吉 郎

- ② 東京都三鷹市
- ③ 電気情報工学コース 助教
- ④ マイクロテクノロジー

3月に八戸市への転居を済ませ、4月から着任しました利穂吉郎と申します。青森と聞いて冬の積雪を覚悟したのですが、真冬でも雪はほとんど降らないと聞いて、ほっと胸を撫でおろし、明るい気分になりました。電磁気、電子工学といった授業、5年生の卒業研究、寮務委員やロボコンといった校務を担当し2～3か月が経ったところです。毎日の業務内容の修得と改善に取り組んでいます。

自分の場合は前職を含め過去30年以上、民間の半導体企業に勤務しておりました。そこでは市場で勝ち残るための製品の設計、製造が最優先課題であり、学生の教育、育成を第一に掲げる高専とは異なっております。当然のことながら組織の違いに戸惑いがあるわけですが、新たな刺激や発見もあります。第一に高専内の教員や職員の文化が、役職や給与水準にとらわれずフラットであり、疑問は何でも問い合わせできるし、意見は発言が可能となる点です。第二に学生との対話が、高校や大学のころの自分を思い出させ、やる気に繋がっていく点です。これは着任前には思いもよらないことでした。

八戸高専で何年もやられてこられた先生方から見れば、自分は質、量ともにまだまだパフォーマンス不足です。これから少しずつでもペースアップしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

① 関 淳 志

- ② 東京都杉並区
- ③ マテリアル・バイオ工学コース
- ④ 東京理科大学 理学部第二部化学科 助教

本年4月1日付で着任した関 淳志と申します。

私は中央大学理工学部応用化学科を卒業後、東京大学大学院 工学系研究科 化学生命工学専攻の修士課程を修了しました。化学メーカーで5年ほど研究員として勤務した後に、香川大学大学院 工学研究科 材料創造工学専攻で博士（工学）の学位を取得しました。大学院修士課程までは東京で過ごしてきましたが、その後は、神奈川、香川、北海道、茨城、東京、そして、青森（八戸）と転々とする生活を送っています。

専門は有機機能材料分野になりますが、中でも液晶やゲルといった分子集合体に注目して、研究しています。最近では、電気を流す液晶や凝集状態で強い発光を示す材料、酸や金属イオンに応答して変色するゲルの研究に注力しており、前所属先の大学等と連携しながら研究を進めていきたいと考えています。

ご縁があって採用いただいた本学で、次の時代を担う工学人材の育成に貢献できるように励む所存です。何卒よろしくお願いいたします。

① 佐々木 健 一

- ② 青森県むつ市
③ 事務部長
④ 弘前大学医学部附属病院経理調達課長

令和7年4月1日付で事務部長を拝命いたしました佐々木と申します。

これまでは弘前大学に勤務し、主に財務、研究推進、大学病院業務などに携わってまいりました。初めての高専勤務となりますが、これらの経験を活かし、八戸工業高等専門学校のさらなる発展に貢献できるよう努めてまいります。

希望と少しの不安を抱えて4月に入学してきた新入生たちも、日々の学校生活に少しずつ慣れ、元気に挨拶を交わしてくれる姿に、私自身も大きな励ましをいただいております。高専での学生生活は、心身ともに大きく成長する貴重な時期となります。学生一人ひとりが人間力を高め、笑顔で卒業の日を迎えられるよう、教職員と力を合わせ、学びやすく安心できる環境づくりに尽力してまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

① 寺 沢 琴 羽

- ② 青森県三沢市
③ 総務課調達・施設係
④ 新卒採用

令和7年4月1日付で総務課調達・施設係に着任しました寺沢と申します。主に教職員の皆さまの業務をサポートする仕事を担当しています。

実は中学校の同級生が高専に通っていることもあり、このようなご縁をいただき八戸高専で働けることを楽しみにしておりました。実際に働き始めてからも、周囲の方々があたたかい雰囲気ですてくださり、安心して日々の業務に取り組んでいます。

まだまだ分からないことも多く、毎日が勉強の連続ですが、少しずつ業務に慣れながら、自分なりにできることを一つひとつ丁寧に取り組んでいきたいと思っています。教職員の皆さまや、学生の皆さんが安心して過ごせるような、より良い学校づくりに少しでも貢献できるよう努めてまいります。これからさまざまな経験を重ねながら成長していきたいと思っています。微力ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

① 大 野 速 太

- ② 大阪府豊中市
③ 総務課長
④ 福井工業高等専門学校 総務課長

このたび、4月1日付で福井高専より参りました総務課長の野と申します。

本校にはおよそ9年ぶりに復帰しました。というわけで、じつは新任教職員として高専だよりにあいさつ文を書くのは今回で2度目となります。

さて、そんな9年ぶりの八戸高専は、以前とはずいぶんと様変わりし、変化の大きさにやや戸惑いも感じつつ、一方で変わらぬ光景や顔ぶれに懐かしい思いも抱きながら日々仕事をしています。

本校の学生はとても礼儀正しく、いつも明るくあいさつをしてくれます。特に一日の始まりのあいさつは、その日を気持ちよく過ごすために不可欠なものです。そんな学生の皆さんのおかげで毎日を快適に過ごせています。

八戸高専のますますの発展、学生のさらなる活躍のために力を尽くしてまいりますのでよろしくお願いいたします。

① 清 川 明 子

- ② 青森県八戸市
③ 学生課学生係
④ 社会福祉法人八戸市社会福祉事業団

令和7年4月1日付けで学生課学生係に配属になりました清川明子と申します。

3月までは社会福祉法人で事務職員として勤務しておりました。

学校での勤務は初めてのことで不慣れなことも多いですが、周りの方々に教えていただきながら、業務を進めることができおりとても感謝しております。

これまでの経験を活かしつつ、新しいことに挑戦していけるように学んでいきたいです。

まだまだ至らないところもございますが、学生のみなさんの学校生活が充実した時間となるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

北辰寮から

寮生活を楽しみに

寮務主事補 郭 福 会

令和7年度の春学期が終わり、現在夏学期に入るところ、新入寮生の皆さんは初めての寮生活、いかがでしょうか？もう慣れてきたでしょうか？先輩たちと一緒に楽しんでいるでしょうか？点呼・洗濯・部屋の整理整頓・外泊外出の手続きなど、大変だと思いますが、ちゃんとできたら、大きな進歩となります。ぜひ、規則正しい生活を送れるように頑張ってください。皆さんの成長を見守ることは教職員の一歩の楽しみです。これから、寮祭・ごみゼロ運動・寮内スポーツ大会などのイベントが次々に行われます。一緒に楽しみましょう。また、寮生の皆さんが快適な、かつ、充実した生活ができるよう、寮務教職員一同、一丸となって支援してまいります。ファイト！

国際棟長より

機械・医工学コース5年
佐 藤 壮 悟
(三沢市立堀口中学校出身)

新学期から3ヶ月が経ち、新入生は学校生活や寮生活に慣れてきた頃でしょう。

国際寮にはフランスなどからの短期留学生が来ており、共同生活を通して多くの学生と交流する様子が見られました。特に、先日行われた校内体育大会でも競技を通じて留学生との絆が深まった良い機会となりました。普段の寮生活でも、共有スペースをうまく活用して勉強や雑談で留学生と交流することが増えてきているのを実感しています。

これから寮祭という、寮の一大イベントが控えており、気が緩みやすい時期かと思えます。寮祭を成功させるためにも、問題となる行動をすることのないようにしましょう。大

事なのはメリハリを持つことです。一人一人がメリハリを持ち、引き続き楽しい寮生活を送りましょう。

寮生総代より

マテリアル・バイオ工学コース5年
神 偉 晴
(青森市立荒川中学校出身)

新年度が始まってから、早くも約3ヶ月が経ちました。昨年度に引き続き、4月には新入寮生歓迎会を無事開催することができました。5月末には春学期の到達度試験があり、6月中旬には校内体育大会と、イベントが次々に行われていきます。

さて、北辰寮では今月末に寮祭が行われます。今年度の寮祭予算は昨年度のおおよそ2倍に増額され、大きく変更が加えられました。これらは放送・照明機材の大幅アップグレードに使用される予定で、ステージ発表で大いに盛り上がりを見せることが期待されます。年に一度の寮祭です。皆さんの積極的な参加を心よりお待ちしております。ぜひ楽しんでいただきたいと思います。

7月に入ると高専大会が始まります。日頃の練習の成果を十分に発揮するためにも体調管理に努め、健康的な生活を心がけていただきたいと思います。

楽しい行事が続いていますが、知らず知らずのうちに体は疲れがちです。しっかり食事と睡眠をとって、夏学期も元気に過ごしましょう！

相談室では、心身の変調や悩みのある学生に対して、カウンセラー等による支援を行っています。青年期は心身が大きく変化・成長する時期であり、活動範囲も広がります。つまり、外界からの刺激が多くなり、その刺激に振り回され易くなります。これらの情報に振り回されないようにするには、自分を鏡として捉える、という方法があります。つまり、自分という鏡があり、その鏡に映し出されているものが外部世界である。自分はただの鏡なので、汚れる事も動揺もしない。刺激が入っても、すぐに消えるだけ。この様に外部世界を観ると、自分を客観的に捉える事が出来るので、自分の内面を守ることが出来ます。心の仕組み、認知の仕組みを良く理解なさっているカウンセラーの先生の力を借りて、多くの刺激の存在する環境の中でも、明るく前向きに生きていけるヒントを教えもらいながら、力強く生きて欲しいと願っています。

相談室は夏休み中も平日 9～17 時開室しています（お盆の学校閉鎖期間を除く）。相談がある場合は、まず電話かメールで相談員か保健室にお問い合わせください。

◎カウンセリング

カウンセリングは原則として学校にて「対面相談」で行います。相談を希望する場合は、日時を予約しての対応になります。臨床心理士、公認心理師の資格を持つカウンセラーが定期的に来校していますので、安心してご相談ください。本校ホームページにカウンセラー等の来校予定日が掲載されていますのでご確認ください。また、校内に「カウンセラー来校日のお知らせ」ポスターや、各教室内に「相談室からのお知らせ」も掲示しています。

・カウンセラー

小川 拓人 氏（公認心理師・青南病院）
土屋 文彦 氏（臨床心理士）
中西 智子 氏（臨床心理士）
嶋野知恵子 氏（公認心理師）

・スクールソーシャルワーカー

さらに本校では、スクールソーシャルワーカー（SSW）も来校しています。心の悩みというより学生の家庭や学外も含め社会的に困難がある場合など是非ご相談ください。この場合も秘密は守られます。

吾妻 珠紀 氏（公認心理師、
一級キャリア・コンサルティング技能士）

◎障害者への支援体制

発達障害等の診断を受けた場合や、生得的なさまざまな特性により支援が必要と思われる場合にも相談室にご相談ください。合理的配慮が必要な場合は、教職員チームで支援体制を整え、障害支援の経験豊かな専門家のアドバイスを得ながら適切に対応して参ります。

・障害支援アドバイザー

千葉 隆史 氏（非常勤／元県立養護学校長）

最後に本校常勤の相談室スタッフをご紹介します。

◎インテーカー（窓口）TEL 0178-27-7236（保健室）

石川久美子 看護師

◎相談員

各コースの教員が、皆さんの悩みなどに対応できる体制をとっています。曜日ごとに教員が決まっており、談話室で待っております。時間は 16：00～17：00（授業日）です。夏学期の担当は次の通りです。

月曜日：北川 広大 教員（Mコース）
火曜日：中村 嘉孝 教員（Eコース）
水曜日：金 善旭 教員（Zコース）
木曜日：草刈 明美 教員（G科）
金曜日：門磨 義浩 教員（Cコース）

◎教職員向け相談員

下に示す時間、場所で相談に応じます。主に教職員向けですが、学生でも相談できます。

・河村 信治 相談員、

水曜日 15：00～17：00、

場 所：相談室

・岡田みゆき 相談員、

火曜日 15：00～17：00、

場 所：非常勤講師室（図書館）

◎八戸高専 相談室ホームページ

<https://www.hachinohe-ct.ac.jp/schoollife/soudan/index.php>

◎電話相談窓口

学生本人と保護者の方がご利用になれる高専機構の「KOSENこことからだの学外相談室」フリーダイヤル 0800-000-2228 もあります。（受付時間：15：00～24：00・年中無休）

グローバルセンターから

1. 令和7年度の新留学生

今年度、タイから1名（C）、マレーシアから2名（M、Z）、ミャンマーから1名（Z）、ラオスから1名（C）、モンゴルから2名（E、AC）の計7名の留学生を新たな仲間として迎え入れました。家族と離れ、日本での生活は多くの困難に直面することがあると思われます。日本人学生や先輩留学生の皆さんには、クラスや学寮、課外活動などを通じて積極的に関わり、彼らが少しでも早く日本の生活や環境に慣れ、安心して学べるよう温かいサポートをお願いいたします。

2. グローバルエンジニア育成事業

令和6年度より、国立高等専門学校機構が主催する「第5期グローバルエンジニア育成プログラム」が始動しました。それに伴い、本校では従来の国際交流センターとグローバルラーニングセンターを再編し、新たに「グローバルセンター」を開設しました。同センターには「国際交流室」と「グローバルエンジニア室」の二室が設置され、留学生支援活動や国際自主探究研修など、幅広い国際関連活動を展開しています。本校が目指すグローバルエンジニア像は、「未知の課題に粘り強くアプローチし、チームワークの中で言葉の壁などに負けない強いマインド作りと相補的な国際視野を有するエンジニアの育成」です。この理念に基づき、令和6年度はシンガポールやモンゴルでの国際自主探究研修、台湾語学研修、タイ日交流サイエンスフェア2024など、さまざまな海外派遣プログラムを実施いたしました。

令和7年3月には、本校で初めて「KOSEN Global Camp 2025 in 八戸」（以下、KGC）を開催しました。KGCは、高専生や留学生が英語を共通言語として協力しながら課題解決型学習に取り組む国際教育プログラムで、今回は『防災に役立つものづくり』をテーマに設定しました。海外からはモンゴル3名、シンガポール2名、タイ1名の留学生が参加し、国内からは、苫小牧高専5名、仙台高専名取2名、本校から9名の学生が参加しました。合計22名の学生たちは、各コースでのワークショップや交流活動を通じて、実り多い時間を過ごしました。残念ながら、プログラムはインフルエンザ流行の影響により全日程を完遂することはできませんでしたが、参加学生にとっては貴重で充実した経験となりました。



KGCでのワークショップの様子

令和7年度も、シンガポールおよびモンゴルでの国際自主探究研修や台湾語学研修を予定しております。また、6月13日からはタイ高専KMUTT（バイオ工学科）から13名の学生を迎え、発酵工学に関する研究プロジェクトや本校の授業への参加、企業見学などを含むインターンシッププログラムを実施しています。

このように、八戸にしながら国際交流の機会を得られるプログラムを今後も継続的に創出していきます。



タイ高専インターンシップ開会式の様子

ダイバーシティ推進委員会について

菊池 秋夫

ダイバーシティ推進委員会は、男女共同参画委員会から名称変更し、昨年4月から発足し令和7年で2年目になります。ダイバーシティ推進委員会では、社会全体のジェンダーギャップ解消、多様性の尊重と歩調を合わせ、年齢、人種、国籍、宗教、障がい、性的少数者であること等を理由とする差別なく、インクルーシブなコミュニティ形成をビジョンとして掲げています。当推進委員会では、このビジョンを達成するために様々な取り組みを行うことで、学生・教職員・保護者など本校に係る全ての人々がダイバーシティに理解を深め、その推進が図られることを願っています。

インターネットで「日本 ダイバーシティ」と検索すると上位候補に「遅れ」という語が出てきます。このことに端的に象徴されるように、日本のダイバーシティは世界的に見て先進的とはいえない状況であることはたしかのようです。一方、ダイバーシティ（diversity）という言葉自体は日本社会でも定着しつつある用語といえましょう。語源からdiversityを見てみると、接頭辞di-「離れる」+語幹verse「転がる、方向転換する」の二つが組み合わさったものです。さまざまな方向に転がっていく、今まで見えなかった世界も見えていく、というニュアンスがあります。

早稲田大学の小谷真美教授は、企業のダイバーシティ推進に関して、「性・人種・身体的特徴など、目に見える形での「表層的なダイバーシティ」に加え、考え方、文化的背景など目に見えない形での「深層的なダイバーシティ」と二つに区別しています。とくに後者は、これまで注目をされてこなかったと思われます。小谷教授の指摘は、企業だけにとどまらず、学校、政府、社会全体にもあてはまるといえましょう。ダイバーシティ本来の包括性を実現し、より創造性の高い社会を構築していくために、そうした深い理解が必要になってくるのは間違いありません。本委員会は、学生の皆さんがそうした理解をするための一歩を踏み出すサポートをしていきたいと考えています。

https://www.adeccogroup.jp/power-of-work/vistas/adeccos_eye/28

図書館の今年度の予定

図書館長 釜谷 博行

今年度の図書館の活動として、以下のことを計画しています。

<読書習慣を身につけさせるための各種イベントについて>

- ・ブックハンティング
- ・ニューズレターの発行
- ・各種展示コーナーの充実

<令和7年度図書館委員会行動計画>

- ・交流室の積極的な活用について
- ・読書習慣を身につけさせるための各種イベントの充実
- ・蔵書点検の実施
- ・新聞設置の周知

<その他>

・八戸ブックセンターとの連携「ひと棚」選書

今年度も八戸ブックセンター内に「ひと棚」を設置させていただき、高専の先生方が選書した図書を展示する予定です。新たな「本との出会い」があるかもしれません。お立ち寄り頂ければと思います。

・新入生コーナーの開設について

図書館の利用促進のため、図書館入口正面に新入生の皆さんに向けて、おすすめの本を集めたコーナーを開設しました。新1年生の皆さん、是非、図書館に足を運んでみて下さい。



・校外からの図書予約、貸出状況確認について

スマホ・自宅PCからも図書の予約や貸し出し状況の確認ができます。蔵書検索画面からログインし、ご利用ください。

右のQRコードから蔵書検索画面にアクセスできます。ログインボタンは画面右上に置かれています。



キャリア教育・ 学習支援センター から

キャリア教育・学習支援センター長
沢村利洋

最近のニュースを見ていると、入社して数日で退職する人がいるそうですね。キャリアセンター長の立場からすると、情報がいっぱいあり入手手段も多々ある世の中で、なぜ、学生時代に自分の志望にマッチする企業を探さなかったのだろうと、不思議に思うところです。

1、2年生はまだ進路についてぼんやりとしたイメージができていないかもしれませんが、学校の勉強にとどまらずエンジニアや研究者に必要な社会の要求を知るためニュースなどにも興味を持って下さい。3年生はとにかく情報収集。一般的な情報はキャリア講演会や進路参考資料で知ることができるようにしていますが、個人個人が必要とする一定分野の詳しい情報は自分で探す必要があります。4年生は夏季休暇中のインターンシップ等で社会を体験して来てください。5年生はこれから編入学試験を受ける方などは最後まで気を抜かないように。進路が決まった方は最終学年での高専生活を（ルールの中で）思う存分楽しんでください。

では、今年度の進路状況とキャリアセンター事業についてご説明していきます。

【進路状況】

1. 今年度の社会情勢

採用選考にインターンシップの評価を企業が使用できるようになって3年目。就職活動はどんどん早期化して、インターンシップが一次選考なのでは、という感じになっています。また、採用選考において学業成績をより重要視することが明文化されたことで、人気企業では高専時代の成績も見られていると考えた方がよいでしょう。企業によっては、インターンシップ対象者の選考にSPI

を課すところも出てきています。以前は就職試験対策としていましたが、1年早まり3学年後期から対策が必要かもしれないなくなっています。

そのような早期化への対応から、キャリア講演会の時期をずらしたり、3月1日に開催している企業内容説明会の対象学年に2年生を含めたりしています。しかし、学生本人がまじめに取り組んでくれないとキャリアセンターとしてはサポートすることができません。キャリア講演会をサボる学生がそこそこいますが、自分にとって損なことだと認識してもらいます。

進学に関しては、多くの大学で夏季休業前に編入学試験を実施しています。難関大学の多くはいまでも学力選抜は8月ですが、6、7月に推薦選抜を実施するところが増えています。また、ここ2年程の傾向として、指定校推薦制度を採用するようになった大学も増えています。私大が多いですが、特殊な専門業務につける学部からも来ています。自分の将来を考え、情報収集を怠らず、どこを受けるかしっかりと戦略を練って下さい。必要な学力は進路参考資料で確認してもらいたいです。TOEICスコアに関して言うと、600前後が地方国公立大のボーダーで、難関大は700近くまで上げないと不安です。また、低学年での数学が身につけていないと受験勉強は莫大な時間がかかります。1年生から基礎をしっかりと身につけて下さい。

以上、就職も進学も早期化が進んでいます。この傾向はより加速することはあっても、戻ることはしばらくないことでしょう。

就職に関しては少子化の影響で、すぐに希望の所に入れるイメージがありますが、当然のことですが、準備不足の人はそう簡単に内定をとることはできません。進学に関しても4学年の最終順位を推薦条件にしているところが多いため順位に拘るのもわかりますが、専攻科など推薦人数には限りがあるところも多いです。必ず、学力に回することも考えて受験勉強を進めてください。なお、推薦で合格できたからといって勉強しなくていい、という訳ではありませんからね。大学ではよりハイレベルな学生たちと研究活動を行います。しっかり地力を固めておくように。

2. 現在の進路状況

今年度の6月17日現在の本科5年生および専攻科2年生の進路状況を表に示します。進学希望と就職希望の割合は、コースによってばらつきはありますが、全体としては、ほぼ同じくらいです。

進学希望の場合は、技科大・専攻科の推薦を終えたところからです。地方国公立大の学力試験は7月に入ってからです。推薦とはいえ、高い倍率のところもあるため合格とならなかった学生もいますが、全体としては順調な出だしです。

就職希望で内定を1つでも取っている学生の割合は、本科約63%（内定連絡を受けているのは感覚として100%近く）、専攻科100%です。インターンシップ先から内定をもらう人数が増加傾向です。

本校に届いている求人数は、昨年度、本科で約25%激減しました。今年度は約10%減少傾向が続いています。全国的な傾向は、求人数は増加しています。ここ数年で、マイナビなどのプラットフォームをインターンシップ時点から活用する企業が増えています。本校に来ているものだけでなく、ネット上からの情報も漏らさずに集めるようにして下さい。

進路状況（6月17日現在）

本科コース	M	E	C	Z	計
卒業予定者数	36	37	45	36	154
進学希望者数 (合格者数)	17 (11)	13 (4)	25 (4)	19 (7)	74 (26)
就職希望者数 (内定者数)	19 (12)	23 (15)	20 (19)	17 (4)	79 (50)
求人社数 (昨年度同時期)	523 (592)	546 (609)	385 (408)	396 (447)	1,850 (2,056)

専攻科コース	AM	AE	AC	AZ	計
卒業予定者数	4	10	7	3	24
進学希望者数 (合格者数)	2 (0)	9 (0)	6 (0)	3 (0)	20 (0)
就職希望者数 (内定者数)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	－ (－)	4 (4)
求人社数 (昨年度同時期)	490 (562)	506 (578)	360 (382)	383 (427)	1,739 (1,949)

【キャリア支援】

年度初めに実施したキャリア説明会以外に今年度も次の講座を予定しています。 ※括弧内は対象学年

- ・自己分析講座（1、3年）
- ・進路活動準備講座①～④（3、4年）
- ・労働に関する講演会（5年）
- ・進学予定者報告会（全学年）
- ・大学・大学院説明会（主に3年以上）

低学年の学生は、キャリア講座を面倒臭いと思うかもしれませんが、進路活動を本格的に始めると出席しておいてよかったと思えることでしょう（先輩に聞いてみて下さい）。また、「進路参考資料（R7年度は“青”）」は毎年必ず目を通すこと。4年生の冬に予定されている三者面談で志望先を保護者とともに確認しますので、ご家族で志望先を確認する参考資料としてもご活用ください。

また、図書館にある進路関係の情報誌（業界地図や四季報等）、問題集、参考書を手にとって眺めてください。冊数は学生人数分揃えられないため、貸出は基本的に行っておりませんが、進路に必要な書籍や参考書の購入時に確認用としてご活用下さい。

【学習支援】

1. 進学支援

受験対策や、進学してから必要な学力をつける目的で次を計画しています（一部実施済み）。

- ・校内数学模試（12月、1～4年）
- ・受験直前数学・英語模試（4月、5年）

数少ない授業以外で力試しをできる機会です。是非ご活用下さい。

2. メンター制度

今年度は、予算の関係で応募対象が学期ごとに变化します。学期初めに変更がある場合は連絡をしますのでご確認のこと。

なお、今年度の秋・冬学期のマッチング期間は次の通りです。

秋学期：9月29日（月）～10月14日（月）

冬学期：12月4日（木）～1月19日（月）

実施できる期間・回数を考慮してマッチング期間は設定していますので、メンティ希望の場合は締切厳守で申込書の提出をお願いします。

3. 数学基礎セミナー

1、2年の数学科目の到達度試験で単位取得できなかった学生全員を対象に、補充試験対策として実施します。学期毎に該当する学生が決まりましたら、本人とその保護者にメールでご連絡差し上げます。

課題を全てすることで補充試験の受験資格を得ることができます。

各事業は、順次、メールや掲示で詳細をご連絡してまいります。積極的にご活用下さい。

○ 令和6年度 学年学業成績優秀賞

氏 名	進 級 後 ク ラ ス
【1年次成績部門】	
小笠原 幸 輝	機械・医工学コース2年
丸 山 海虹夏	電気情報工学コース2年
小田嶋 優 衣	マテリアル・バイオ工学コース2年
小笠原 冬 也	環境都市・建築デザインコース2年
【2年次成績部門】	
下 道 冬 雅	機械・医工学コース3年
金 田 空 悟	電気情報工学コース3年
三 浦 美 羽	マテリアル・バイオ工学コース3年
橋 本 崇 聖	環境都市・建築デザインコース3年
【3年次成績部門】	
福 田 このみ	機械・医工学コース4年
青 山 瑠 心	電気情報工学コース4年
上長根 龍 斗	マテリアル・バイオ工学コース4年
滝 川 健 伸	環境都市・建築デザインコース4年
【4年次成績部門】	
福 士 涼之真	機械・医工学コース5年
高 島 唯 利	電気情報工学コース5年
横 野 彩 音	マテリアル・バイオ工学コース5年
岩 織 圭 汰	環境都市・建築デザインコース5年
【専攻科成績部門】	
山 田 晟 也	機械システムデザインコース2年
市 島 幸 奈	環境都市・建築デザインコース2年

○ 三ヶ年皆勤賞

機械・医工学コース	電気情報工学コース	マテリアル・バイオ工学コース	環境都市・建築デザインコース
長 利 榛 久	青 山 瑠 心	上長根 龍 斗	浅 利 埜々香
柴 田 善	今 村 奏 心	野 中 結 菜	今 井 湊 琉
宮 崎 冬 雅	遠 澤 佑 樹	チャルーンボン パナッダー	清 水 陽 葵
山 田 朝 陽	熊 野 り お		滝 川 健 伸
	佐々木 千 櫻		
	下長根 碧 海		
	杉 本 慎之介		
	清 藤 士希也		
	館 向 大 輔		
	道 地 飛勇馬		
	山 田 龍 治		
	ピチャチョーティウオン パビガン		



団体の部

競技開催校	競技名	競技会場	男子	女子	競技日程
八戸高専	硬式野球	(メイン)長根球場 (サブ)①東運動公園野球場(7/5) ②六戸町総合運動公園野球場(7/6)	準優勝	－	令和7年7月5日(土)～6日(日)
	バスケットボール	八戸市体育館	予選敗退	4位	令和7年7月5日(土)～6日(日)
一関高専	卓球	一関ヒロセユードーム	予選敗退	優勝	令和7年7月5日(土)～6日(日)
	ハンドボール	花巻市総合体育館	4位	－	令和7年7月5日(土)～6日(日)
秋田高専	ソフトテニス	秋田県立中央公園人工芝テニスコート	リーグ戦敗退	－	令和7年7月5日(土)～6日(日)
	柔道	秋田県立武道館柔道場	4位	－	令和7年7月5日(土)～6日(日)
鶴岡高専	サッカー	小真木原陸上競技場 小真木原多目的広場	優勝	－	令和7年7月5日(土)～6日(日)
	バドミントン	つるしんアリーナ小真木原 (小真木原総合体育館)	1回戦敗退	－	令和7年7月5日(土)～6日(日)
仙台大専 仙台南専	ラグビーフットボール	みやぎ生協 めぐみ野サッカー場			令和7年10月18日(土)、19日(日)、 21日(火)
	水泳競技	セントラルスポーツ宮城 G21プール	5位	5位	令和7年7月5日(土)～6日(日)
仙台高専 名取	陸上競技	仙台市陸上競技場	4位	4位	令和7年7月5日(土)
	バレーボール	仙台市若林体育館	3位	2位	令和7年7月5日(土)～6日(日)
福島高専	テニス	いわき市平テニスコート	予選敗退	準優勝	令和7年7月5日(土)～6日(日)
	剣道	いわき市総合体育館	予選敗退	予選敗退	令和7年6月28日(土)～29日(日)

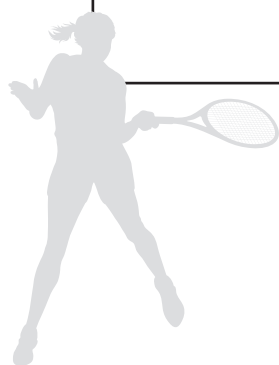
※全国大会団体出場競技

競技種目	全国大会会場	全国大会日程
サッカー	宮崎県山之口陸上競技場(都城市)	令和7年12月20日(土)、21日(日)、 23日(火)、24日(水)
卓球 女子	大牟田市総合体育館(おおむたアリーナ)(大牟田市)	令和7年9月5日(金)～7日(日)



個人の部

競技種目	種 目 名	クラス	氏 名	成績	全国大会日程
陸 上 競 技	男子走高跳	C 4	三 浦 悠 杜	1 位	日程：令和 7 年 8 月 29 日(金), 30 日(土) 会場：大分スポーツ公園クラサ スドーム大分（大分市）
	男子やり投げ	E 3	相 馬 和 空	2 位	
	男子110mH	M 2	工 藤 優 真	3 位	
	男子400m	M 2	前川原 漣	3 位	
	男子走高跳	C 2	新 堂 勇 海	3 位	
	男子砲丸投	L 2 / Z 1	西 崎 廻	3 位	
	男子円盤投	L 2 / Z 1	西 崎 廻	1 位	
	男子3000mSC	L 4 / Z 1	松 倉 悠 悟	3 位	
	女子100m	L 1 / C 1	青 山 小 梅	1 位	
	女子走幅跳	L 1 / C 1	青 山 小 梅	3 位	
ソフトテニス	女子個人	M 1 M 1	松 田 華 凜 佐々木 瑞 姫	優勝	日程：令和 7 年 8 月 30 日(土), 31 日(日) 会場：熊本県民総合運動公園 パークドーム熊本（熊本市）
柔 道	女子個人	L 4 / Z 1	向谷地 彩 七	2 位	日程：令和 7 年 8 月 30 日(土), 31 日(日) 会場：第一警備スポーツセンター 戸畑（北九州市）
卓 球	男子シングルス	C 5	和 田 佳 都	準優勝	日程：令和 7 年 9 月 5 日(金) ～ 9 月 7 日(日) 会場：大牟田市総合体育館（お おむたアリーナ）（大牟 田市）
	男子ダブルス	C 5 E 2	和 田 佳 都 小 林 愛 叶	優勝	
	女子シングルス	Z 2	小 山 菜々香	優勝	
		C 5	田 中 蒼 空	準優勝	
	女子ダブルス	C 5 C 5	蛭 名 歩 来 田 中 蒼 空	優勝	
		C 3 Z 2	柳 沢 玲 美 小 山 菜々香	3 位	
テ ニ ス	女子シングルス	C 2	羽 鳥 夏 渚	3 位	
	女子ダブルス	C 2 C 1	羽 鳥 夏 渚 七 戸 友利乃	3 位	
水 泳 競 技	男子100m平泳ぎ	M 3	引 木 優 介	2 位	日程：令和 7 年 8 月 23 日(土) ～ 8 月 24 日(日) 会場：鴨池公園水泳プール（鹿 児島市）
	男子200m平泳ぎ	M 3	引 木 優 介	2 位	
	女子100m背泳ぎ	M 2	小 柴 結 心	2 位	
	女子200m個人メドレー	M 2	小 柴 結 心	1 位	



「保護者の声」設置について

保護者と学校の連携を密にし、よりよい教育を推進するため、下記のとおり「保護者の声」を設置しております。

お子さんの就学上のこと、学校に対する要望、ご意見など、無記名で結構ですので、郵便・電話・FAX・e-mail等で随時下記の連絡先までお寄せください。

《連絡先》

八戸工業高等専門学校 総務課総務係
TEL 0178-27-7223 FAX 0178-27-9379
e-mail: somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

授業料等の納付について

後期分授業料の口座振替を、10月27日（月）に行います。（就学支援金額未決定者を除く。授業料免除申請者は申請期限により、口座振替されない方と、一旦口座振替する方がいます。口座振替された場合は、決定後に授業料を返金します。）

寮生は、10月～3月の寄宿料及び学寮運営費も併せて振替になります。

金額を確認のうえ、振替日前日までに届出口座にご準備ください。

単位：円

授業料		寄宿料		学寮運営費		振替手数料
1～3年	4年～	複数室	個室	一般寮	混住型国際寮	
117,300 ※1 57,900	※2 117,300	4,200	4,800	※3 131,700	※3 127,200	66

※1 就学支援金受給対象者の例（加算支給なしの場合）

※2 授業料免除申請者（高等教育の修学支援新制度を含む）は、免除決定額に応じて減額・免除となります。

※3 学寮運営費の金額は令和7年度より改定されました。

授業料等を期日（前期分9月、後期分3月）までに納付しない者は、授業料等未納により除籍などの処分になる場合がありますので、ご注意ください。

【問い合わせ先】総務課財務係 TEL 0178-27-7228

授業料の支援・減免制度について

◆高等学校等就学支援金制度

対象：1～3年生（高校生年齢）

授業料の支援が受けられます。学生等に代わり学校が支援金を受取り授業料に充てる制度です。

◆高等教育の修学支援新制度（日本学生支援機構 給付型奨学金）

対象：4年生～専2年生（大学生年齢）

授業料減免と給付型奨学金が受けられる制度です。

◇手続きや募集について

時期になりましたらOutlook、さくら連絡網、

学校HPでお知らせしています。

～名前が似ているけど、違う制度～

「高等学校等就学支援金」と「高等教育の修学支援新制度」は異なる制度です。3年生まで支援を受けていたから、自動的に4年生以降も受けられる、というものではないのでご注意ください！ 高等学校等就学支援金は、支援を受ける・受けないに関わらず全員に手続きを依頼しますが、高等教育の修学支援新制度は、各自申請が必要なのでご注意下さい。

【問い合わせ先】学生課学生係 TEL 0178-27-7235

令和7年度 公開講座

- (1) ロケットはなぜ飛ぶか
日 時：7月12日（土）
対 象：小学生
- (2) 建築模型をつくろう
日 時：8月23日（土）
対 象：中学生、保護者
- (3) マイコンを使ったプログラミング体験
日 時：9月27日（土）
対 象：小学5年生以上、中学生
- (4) 化学の学校
日 時：9月27日（土）、10月4日（土）
対 象：青森県内および岩手県北の小中学生
- (5) メカnoワールド体験塾 Aコース
日 時：10月4日（土）
対 象：中学生、中学校教員
- (6) ペーパーブリッジをつくろう
日 時：10月11日（土）
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- (7) 水の浄化実験
日 時：10月25日（土）
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- (8) メカnoワールド体験塾 Bコース
日 時：11月1日（土）
対 象：中学生、中学校教員
- (9) カードゲーム「2050カーボンニュートラル」を通じて再生可能エネルギーについて考えてみよう
日 時：12月20日（土）
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- (10) こうせん・美術館アートコラボ
日 時：1月31日（土）
対 象：一般

